

請負人用外壁改修工事マニュアル

1. 施工計画書に記載すべき内容

- ① 工事概要
- ② 実施工程表
- ③ 施工管理体制
- ④ 使用材料（J I S 規格、指定製造所、指定品質及び実績等を証する資料）
- ⑤ 改修内容、外壁仕上げ毎に、施工面積又は単位面積あたりの所要数量及び総所要数量をまとめた表
- ⑥ 改修工法の手順、作業フロー
- ⑦ 品質管理体制と工程毎の検査方法、管理項目・方法・検査基準及び不合格の場合の補修方法
- ⑧ 使用する機器、器具類の概要とカタログの写し
- ⑨ 養生方法（施工中（騒音・振動・飛散防止）及び完了後）
- ⑩ 安全管理対策
- ⑪ 改修工法毎の追加項目（建築改修工事監理指針参照）
- ⑫ その他監督員が指示する項目等

2. 外壁調査要領

- ① 改修工事範囲全面をクラックスケール、テストハンマー及び目視等でクラックの幅及び長さ、躯体の欠損、脆弱部、ひび割れ部及び壁体の浮きを丁寧に調査する。
- ② 改修箇所には、水性スプレー等でマーキングをするとともに各々の部分に No を付け、設計変更資料として立面図に概略を記入する。
- ③ 数量の計測の単位は、m 単位とし、小数点第 3 位を切り捨てとする。また、面積計算の単位は m^2 とし、改修箇所 No 毎に小数点第 3 位を四捨五入すること。内訳明細書に計上する数量は、「建築数量積算基準・同解説 建築工事建築数量積算研究会制定」による。

3. 工事写真撮影要領

- ① 調査時、Uカット・はつり後及び改修完了後の写真を改修箇所 No 毎に全数撮影する。また、その他各工程等の写真は、各改修工法毎に各面、部位毎に 1 か所以上撮影（施工規模により、監督員が追加を指示する場合がある）し、改修箇所 No 毎に整理する。
- ② 調査時、Uカット・はつり後及び改修完了後の工事写真は、スケールを当てて施工数量が確認出来る写真を撮影する。（なお、施工数量が確認できない場合は、未施工部分として取り扱う。）
- ③ 高圧水洗機の加圧力、試験施工状況、各種検査状況は、数値等が読み取れる写真を撮影する。
- ④ 材料毎に搬入状況、施工数量が正確に確認できるよう使用済み缶(袋、包み等)に、通し番号で印を付け、撮影する。

4. 報告・協議事項、提出書類

工法	報告・提出内容
現況調査（各工法共通）	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水の有無、ひび割れ部からの錆汁の有無 ・外壁調査報告書（改修立面図、改修施工数量表、工事写真） ・鉄筋及びアンカー金物等の防錆処理の仕様 ・施工数量報告書（施工数量表、納品書、工事写真） ・監督員の施工数量（原則、全数）の確認を受けること
樹脂注入工法	<ul style="list-style-type: none"> ・注入量の測定結果 ・コア抜き取り検査における採取したコアの提出（コア抜き取り検査の有無は、特記による。）
Uカットシール材充填工法	<ul style="list-style-type: none"> ・シール材の仕上がり状態、硬化状態の確認結果 ・シーリング材のサンプリング資料の提出
充填工法	<ul style="list-style-type: none"> ・充填材の仕上がり状態、硬化状態の確認結果
モルタル塗替え工法（タイル張り下地モルタル塗りを含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れ部周辺のモルタルに浮きが見られる場合の処置 ・仕上げ厚又は全塗厚が 25 mmを超える場合の処置
アンカーピンニング注入工法（各工法共通）	<ul style="list-style-type: none"> ・搾孔部の浮き代測定結果、搾孔内の乾燥状況 ・エポキシ樹脂等の注入量 ・エポキシ樹脂等の広がり、固着状況（打診検査結果）
タイル張替え工法	<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れ部周辺のタイルに浮きが見られる場合の処置 ・タイルの浮きがどの界面で起きているかの調査報告 ・伸縮調整目地の改修における既存タイル面を切断する場合、タイルが浮くなどの恐れがある場合の処置 ・打診検査（全面）結果、接着力試験結果
塗り仕上げ外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> ・既存塗膜付着力試験結果 ・高圧水洗機、塗膜はく離剤の試験施工の結果 ・シーリング面に仕上塗材仕上げを行う部位の確認